

2001年1月10日付作業完了報告書

圧縮機VP 202-13/8： 吐出し量の増加、運転電流の低減、 対象機の分解不要

フレーブ公開株式会社生産部・処理実施：アズリート有限責任会社（2000年11月7日付契約書第7/11号による）
・報告書承認：フレーブ公開株式会社技師長およびアズリート有限責任会社社長、署名：工場の機械設備保全責任者および受託者の技術責任者

ウクライナ・2000年11月7日付契約書第7/11号・2001年1月10日付作業完了報告書、押印2か所

製品

XADO技術®

通常運転のままの修理・修復処理

処理対象

圧縮機VP 202-13/8

電動機駆動装置付き往復圧縮機、
フレーブ公開株式会社生産部

文書の種類

作業完了報告書

両当事者の署名・押印

機械類

作業開始時の状態

測定項目

圧縮機VP 202-13/8

工場の稼働中設備、分解不要・運転
継続のまま処理

圧力38 kgf/cm²時の充てん時間、運転電流

処理は、アズリート有限責任会社の専門技術者が稼働中の圧縮機に対して実施した。対象機は開放されず、生産も停止しなかった。

主要な結果

↑ **21%**

圧縮機の吐出し量、38 kgf/cm²までの充てん時間120 → 99 s

↓ **10.4%**

駆動装置の運転電流、125 → 112 A

処理前後の測定：圧縮機VP 202-13/8

パラメータ	処理前	処理後	変化
圧力38 kgf/cm ² 時の充てん時間	120 s	99 s	吐出し量+21%
運転電流	125 A	112 A	-13 A・-10.4%

報告書は、圧縮機の吐出し量を圧力38 kgf/cm²時の充てん時間によって評価している。m³/minでの直接測定は行われていない。

報告書の結論

稼働中の処理後、同量の空気の充てん時間は**120 s**から**99 s**に短縮し、運転電流は**125 A**から**112 A**に低下した。すなわち、圧縮機はより多くの空気を送り出し、しかも消費電力は減少している。報告書の結論：XADO技術®の使用により、設備の吐出し量を高め、それによって寿命延長と修理間隔の延長を図ること、新しい設備の摩耗を防止すること、通常運転のまま圧縮機のXADO技術®による処理を良好に実施することが可能であり、その際エネルギーコストの削減が保証される。推奨事項：稼働寿命の大幅な延長をもたらす、XADO技術®による機械・機構の計画的な予防保全作業を、設備の計画保全に組み込むべきである。XADO技術®は、フレイブ公開株式会社において今後さらに導入することが推奨される。

XADO

© XADO。無断転載を禁ずる。

本結果は、通常運転のまま処理したフレイブ公開株式会社の往復圧縮機VP 202-13/8に関するものであり、他の機器や運転条件では測定値が異なる場合がある。署名・押印のある2001年1月10日付作業完了報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロード可能である。